



まちや ばおた

待矢場太田広域協定運営委員会（群馬県太田市）

- 本地域は、太田市の東部に位置し、関東平野の最西北の東南へ緩やかに傾斜した、扇状地を形成しています。
- 令和5年度、太田市内にある19組織のうち、6活動組織の参加により広域化を図り、その後も着実に活動組織が加わり、令和7年度では9活動組織による体制となりました。
- 事務局を待矢場両堰土地改良区で引き受けており、社会福祉法人も参加し農福連携にも取り組むほか、大学と連携した活動についても実施しています。

【地区概要】

- ・取組面積：669.3ha
(田669.3ha)
- ・資源量：開水路 307.1km
農道 283.1km
- ・構成員：農業者、自治会、
社会福祉法人等
- ・交付金：約 55.4 百万円

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

組織体制と連携

【広域化による活動継続への課題の対応】

- 課題1：役員の担い手不足→**役員のみ選出**
- 課題2：煩雑事務負担→**委員会事務局で一括管理**
- 課題3：長寿命化対策が進まない→**予算の融通**

広域化の効果！

待矢場太田広域協定運営委員会

活動支援班
地域活性協力隊 農業団体 等

【委員】
・各組織代表者
・かなやま学園
・土地改良区

事務局
(待矢場両堰土地改良区)

活動報告 交付金配分

9活動組織(太田市内)

社会福祉
法人との
連携

大学との
連携

取組内容

- 関東学園大学の地域活性協力隊との連携により、「活動支援班」を設置し、共同活動を実施しています。
- 社会福祉法人 かなやま学園は、委員として参画し、学園利用者も水路の草刈りを行い、本事業を通して農福連携に取り組んでいます。



活動支援班



農福連携の取組

取組の効果

- 広域化により、各活動組織では事務負担が軽減され活動に専念しています。また、予算について、運営委員会において優先度を決めて融通し合えることで、小規模な活動組織でも必要な対策が可能となりました。
- 大学や社会福祉法人との連携により、活動支援班の設置など、先進的な取組を積極的に行うことで高齢化や人手不足等の課題を解決に導いて、農福連携の実現にも寄与しています。



地域活性協力隊の後押し

素掘り水路コンクリート化